

マンホール鉄蓋円形交換工法

G-GRIP工法

NETIS登録番号：TH-170011-A

G-GRIP株式会社

〒981-1106 宮城県仙台市太白区柳生字北原32-4

TEL 022-765-8120 FAX 022-703-3864

URL https://www.g-grip.jp/

[問い合わせ先]

東日本事務局：G-GRIP株式会社 TELおよびFAX 同上

関東事務局：有限会社 修幸建設 TEL.048-826-6699 FAX.048-875-2235

西日本事務局：アース建設株式会社 TEL.0594-76-8686 FAX.0594-76-8688



バックホウ搭載円形カッター装置
カッター径φ650~1,630mm



独自の特種樹脂コンクリート「Gコンクリート」

概要

「G-GRIP工法」は、上下水道・通信・電力マンホールのサイズに合わせた円形カッターでアスファルトを切断し、新しく鉄蓋を交換後、強度・耐久性のあるGコンクリート（特殊樹脂コンクリート）で舗装を復旧する工法である。

バックホウに円形カッター装置を搭載することで細かな移動ができ、アスファルト舗装版の切断深度は最大50cmまで可能。



2021年3月、日本下水道機構の建設技術審査証明を取得。

特長

1. 無駄のない円

従来のように大きな舗装復旧でなく、また段差になりがちなジョイントを生じない。

2. 復旧材料は強度・耐久性のある材料で

特に交差点や幹線道路などで、何度も補修できない箇所に最適で、補修サイクルを低減できる。

3. 短時間で施工完了

3時間程度の作業で完了するため、道路を早期に解放でき、渋滞の緩和に役立つ。

4. 耐久性に優れている

Gコンクリート（特殊樹脂コンクリート）は、立ち上がり強度が早く、耐久性にも優れている。

- ・材齢7日の曲げ強度：10N/mm²以上
- ・材齢7日の圧縮強度：25N/mm²以上

作業の流れ



① 損傷マンホール鉄蓋



② アスファルト切断



③ マンホール鉄蓋撤去



④ 撤去完了組立作業



⑤ 新しい鉄蓋の設置



⑥ 樹脂コンクリート材料復旧



⑦ 交換完了